

トーク&ディスカッション：

留学生の視点から見た「女性について」 報告

内閣府男女共同参画推進本部が実施している「男女共同参画週間」（6月23日～29日）に合わせて、奈良県では「なら男女共同参画週間イベント2026」が開催された。大学女性協会奈良支部および奈良市国際女性交流協会は、同イベントの実行委員会に参加しており、両団体合同で、トーク・ディスカッション＜留学生の視点から見た『女性について』～「女性教育」のゴール：日本とアジア諸国の違い～＞を、6月27日に開催した。

発表してくれたのは、奈良女子大学で「日本語上級クラス」を履修している留学生たち。日本語クラスでは、与えられたいくつかのテーマについてグループで調べ、報告する活動を行っている。2025年度後期授業の最後のテーマは「女性について」であった。大学女性協会では、その発表会に参加し、発表会後にランチを取りながら懇談する機会を設けている。奈良市国際女性交流協会からも多くの会員の参加がある。2月の発表はいずれもとても興味深いものであり、テーマが、男女共同参画イベントにふさわしいものであったことから、今回、その一グループの話を広く聞いてもらう機会を設けることとした。当日は、発表者である4人の留学生を含み、28名の参加があった。

両団体の簡単な紹介の後、留学生による発表と質疑応答を行った。発表者は、奈良女子大学で学ぶ留学生の陳さん(台湾)・周さん(中国)・アイリーンさん(マレーシア)・たまさん(ベトナム)で、以下の内容での発表があった。

1. なぜ私たちは学ぶのか？ 「自立」と「安定」
2. 卒業後の壁：リーダーになれる国、サポーターになる国
3. 女性は子どもを産み育てやすいのか？—各国の育児支援制度
4. 教育を「力」に変えるために：留学生からのメッセージ

その発表内容については、大学女性協会奈良支部のウェブサイトにはアップしている「女子教育のゴール」(pdf ファイル)を参照されたい。

発表後には、以下のような質疑応答が行われた。

(回答者は、陳さん：中、周さん：台、アイリーンさん：マ、たまさん：ベ と表記)

Q：日本では、働き方についての希望は色々ある。リーダーになりたい女性もいれば、なりたくない女性もいる。男性は、年齢を重ねるとリーダーになるのが当たり前とされている。皆さんの国では？

中：リーダーになりたい女性は結構いる。女性はいいい結婚相手がいれば結婚したい。ステレオタイプの考えがある。

マ：伝統的考えが残っているが、段々なくなってきている。今は、結婚しなくてもよいという人が増えている。男性に頼らず、何かをやりたいというモチベーションが強くなっている。

台：古い価値観はあるが、若い女性はリーダーになりたい人が多い。

ベ：今は男女平等になってきた。リーダーになりたい女性は多い。

Q：産休を取って夫婦で赤ちゃんの面倒を見るというより、おじいちゃんやおばあちゃんの存在が大きいのか？

中：まだ続いている。自分の母親も助けたいと思っている。

マ：マレーシアも同じだが、ベビーシッターやナニーも多い。

台：子供のころ、おばあちゃんが面倒を見るのは当たり前と思っていた。日本は企業の定年退職の時期が遅いので、手伝うのが難しいと思う。

ベ：中国やマレーシアと似ている。

Q：定年退職の年齢は何歳ですか？

中：女性の定年は50歳だったが、最近では52歳とか53歳になっている。男性の定年は55歳。年金は人によって違う。農村部では、15歳くらいで子供を産むので、親が40歳になると、子どもがお金を稼ぐことができる。

台：人によるが、55歳から60歳。退職金や年金がある。(私の)おばあちゃんは自分が働きたいから仕事を続けている。

註：AIによる概要では以下の通り

- ・中国では、2025年1月1日から15年間かけて段階的に引き上げられている。男性：60歳から63歳、女性(管理職・幹部)：55歳から58歳、女性(一般労働者・ブルーカラー)50歳から55歳)
- ・台湾の法定定年退職年齢は65歳
- ・マレーシアの法定定年年齢は一律60歳
- ・ベトナムの定年年齢は、2026年現在、男性が61歳6か月、女性が57歳

Q：結婚したら、パートナーに育児や家事をしてほしいか？

中：もちろん！育児もパートナーにもしてほしい。(私の)母親は公務員なので、家にいる時間が長いが、父は残業で帰宅が遅い。

マ：同感。父は、育児も家事もできる。

台：パートナーと一緒に。男性の方が子供の世話をする風潮がある。女性はパートナーを選ぶときに考える。(結婚は)30代が当たり前になっている。

ベ：男女は平等。

Q：自分の国のGGGI（グローバルジェンダーインデックス）についてどう思うか？

台：大統領が女性になってから、政治における女性の割合が上昇した。女性の国会議員も増えている。

マ：政治における女性の割合が低い理由は、政治家になる女性が少ない。企業マネージャーなどになりたがる女性が多い。

(文責 中道貞子)

留学生の視点から見た「女性について」 アンケート結果

参加者 28 名(留学生含む) アンケート回答者 18 名

1. 年代をお伺いします。(当てはまるものに○をつけてください)

30 歳未満 (1 名)	40 代 (2 名)	50 代 (1 名)
60 代 (6 名)	70 歳以上 (6 名)	未記入 (2 名)

2. 参加しての感想や意見を自由にお書きください。

*話を聴けてよかったです！

*発表を聞いたり、参加者からの質問を聞いたりすることがとても面白かったと思います。
特に、参加者からの質問で、日本の場合と他の国の場合との違い点はより理解できるようになりました。全体的には話やトピックについてとても面白くて、たくさん新しい知識を得て、とても役に立ちました。

*とても興味深くお話伺いました。国によって、状況が異なることよくわかりました。日本では男女雇用機会均等法の施行から年月が経ち、制度整備は進み、「男女平等」を掲げた活動は若手の参加が減っていることを感じます。(格差に正面きって物申す風潮が薄れていると感じます。)依然として、男女格差は存在しますが。海外のそういった活動はどのような？また、どうしていったらいいと思うか？伺いたかったなと思いました。

*高い志で日本で学んでおられる優秀な皆さんに感服です。自立の武器として学び、女性リーダーが増えると素晴らしい。メッセージは、各人が読んでくれる方が、より伝わった。

*日本の男女共同参画のあり様をどう感じていらっしゃるか、もっとていねいに聞いてみたかったですね。

*くわしく話してくださり、ありがとうございました。知らない日常のことをたくさんかかせていただきました。

*若い方たちの話を聞きたくて参加しました。それぞれの国のあり方がよくわかり、より、留学生の皆さんの国を身近に感じました。

*各国の課題の違いを知ることができましたが、どれも、日本の女性に該当する課題でもあります。国の施策や社会経済の実情にかかわらず、女性が結束して課題の解決をめざす体制があればよいですね。

*留学生にとっても、一般の方にお話を聞いていただく貴重な機会になったと思います。フロアからも多くの質問をいただいてありがたかったです。実施に向けて、様々にサポートしてくださり、お礼申し上げます。

*教育についての考え方「自立」に感心しました。

*教育は安定を得るものではなく、自立するためだときいて、数年前と少し変わってきたのを感じました。よいことだと思います。

*留学生の方から直接お話を聞く機会をつくっていただきありがとうございました。奈良市国際女性交流協会さんの40年の活動もご紹介いただき、皆様のとりくみで、外国の方と交流がすすみありがたいと思いました。

*社会全体がまだまだ”男尊女卑”「男は外」「女は家」。女性が社会進出しても、女性リーダーはまだ少なく、サポーターとなっている。学ぶことは生きる力となる。頑張ってください。

*これからの社会を担う若い女性の留学生のお話が聞けて良かったです。志を持って日本に留学されていると思うので、とてもしっかりした方々でした。日本の若い人たちにもがんばってほしいと思い、未来の日本を変えていてもらいたいです。

*それぞれの国の女性の立場や教育を受ける目的や希望が述べられ、興味深かった。日本語がとても上手でスムーズに聴けました。

*この学びを日本の小学生くらいの時から考える一つに取り入れると、いろんな世界が広がって、知識の一つとして幅広い思考ができるようになるのでよいのではと思いました。

*女性が教育を受けられない国もあるが、世界的に心配なことがなくなるよう、心を一つにしたいと思いました。

3. 留学生のみなさんにメッセージをお願いします。

*みらいに幸あれ！

*とても面白い話になりました！自分の考えや自分の国について共有してくれて、ありがとうございました！

*大変興味深く拝聴しました。ありがとうございました。女性が自立することは、絶対に必要です。専門性も大事ですが、一番は、誰かに幸せにしてもらうのではなく、自分で幸せになる！という自立心を持つことだと思っています。頑張ってください！私も頑張ります。

*これからも自分の人生を輝かせるために学びつづけてください。

*目があった時、すてきな笑顔で挨拶をしてもらいました。それだけで場がなごみました。皆さん、日本語うまいですね。感心しました。それぞれの国のあり方を話してもらってありがとうございました。

*しっかり学び、各国それぞれの社会経済背景の違いはありますが、まだまだ、男性社会である実際。女性リーダーになって、世の中変えて頂きたいです。

*自分自身だけが向上して、リーダーになったり裕福になっても、それだけでは社会全体の向上とは言えません。学力の高い人もそうでない人も、それぞれの立場において自信を持ち、信頼される人になれるよう、社会全体の底上げができるとよいですね。具体的にいうと、会社でバリバリ働く女性にも、その人の子どもを世話するシッターの女性にも人権があるので、どちらの人も、それぞれの仕事において尊重されるような世の中だとよいな、ということです。

*国へ帰られたら、是非リーダーになって活躍してくださいね。

*お国に帰られたら、世界各国と手をつなぎ、平和な社会をきづいていって下さい。

*発表していただき感謝しています。パートナーと協力して、家事、育児をしていくのは、どの方も当たり前と仰り、みなさんがジェンダー平等を進めていただくことに希望を感じました。

*このような機会で、各国の実情を知ることができてよかったです。ジェンダーギャップのはげしい日本ですが、アジアの国々で文化の違いはあるけれど、お互い、学び合って、共にジェンダー平等な未来のためにがんばってほしいと思います。

*教育は自立のため、自分の人生を自分で決めるという強い意志を感じられてうれしかったです。日本の女性も大きな壁がありますが、同様の希望を持って学んでいる人もたくさんいます。これからもぜひ頑張ってください。

*むつかしい日本語を学んで覚えて下さり嬉しいです。母国と日本のかけはしになって頂いて、アジア圏仲良く世界が平和になるよう、女性の特性を生かして誰もが心安らかに生き生きと生きていける世の中を作っていってほしいです。すばらしい留学生の皆さん、頑張ってください。

*ありがとうございました。頑張ってください。

*ご登壇ありがとうございました。

*がんばってください。